

<対策のポイント>

国際競争力の強化に向け、近年、技術発展の著しいロボット・A I ・I o T等の先端技術を活用した「スマート農業」の社会実装を加速化するため、先端技術を生産から出荷まで一貫した体系として速やかに現場に導入・実証する取組等を支援します。

<政策目標>

生産額を1割以上増加又は生産コストを2割以上低減させる技術体系を確立 [平成32年度まで]

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. スマート農業技術の開発・実証

- 実用化・量産化の手前にあるロボット・A I ・I o T等の先端技術を、生産現場において、生産から出荷まで一貫した体系として導入・実証し、経営効果を明らかにする取組を支援します。

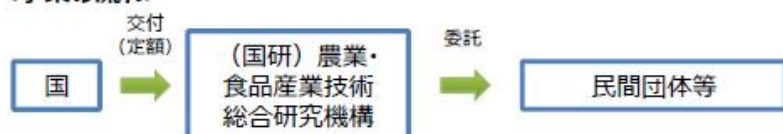
また、農業者の主体的な参画を得て、生産現場が抱える課題の解決に必要な要素技術を現場に導入し、技術・経営の効果を実証する取組を支援します。

併せて、スマート農業と連携しつつ、栽培体系の高度化等を図るための生産・加工・流通関連技術の開発を支援します。

2. データ分析・解析を通じた技術の最適化

- (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構が、実証計画やデータ収集等への助言・指導や、収集したデータを基にした技術面・経営面からの分析・解析を行います。また、これらの分析・解析結果を踏まえ、先端技術の導入による最適な技術体系を検討し、情報提供を行います。

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究推進課 (03-6744-7043)

<対策のポイント>

農業者の生産性を飛躍的に向上させるためには、近年、技術発展の著しいロボット・AI・IoT等の先端技術を活用した「スマート農業」の社会実装を図ることが急務です。このため、現在の技術レベルで最先端の技術を生産現場に導入・実証することによりスマート農業技術の更なる高みを目指すとともに、社会実装の推進に資する情報提供等を行う取組を支援します。

<政策目標>

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [平成37年まで]

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 最先端技術の導入・実証

- (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構、農業者、民間企業、地方公共団体等が参画して、スマート農業技術の更なる高みを目指すため、現在の技術レベルで最先端となるロボット・AI・IoT等の技術を生産現場に導入し、理想的なスマート農業を実証する取組を支援します。

2. 社会実装の推進のための情報提供

- 得られたデータや活動記録等は、(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構が技術面・経営面から事例として整理して、農業者が技術を導入する際の経営判断に資する情報として提供するとともに、農業者からの相談・技術研鑽に資する取組を支援します。

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究推進課 (03-6744-7043)